

News Release



金沢大学

KANAZAWA
UNIVERSITY

平成23年3月18日

各報道機関文教担当記者 殿

生活習慣病の新しい予防・治療を目指して 医薬保健研究域に新センターを設置

金沢大学医薬保健研究域は、平成23年3月18日付けで、「脳・肝インターフェースメディシン研究センター」を設置しました。これを記念し、看板の上掲式を行います。

このセンターは分野の異なる四つの部門が連携して、脳・肝を中心とした臓器間相互作用と破綻及びその阻止を解明し、生活習慣病の新しい予防・治療法の開発を目指します。

金沢大学医薬保健研究域附属 脳・肝インターフェースメディシン研究センター看板上掲式

1. 日時 平成23年3月24日（木）10:50～
2. 場所 金沢大学宝町・鶴間キャンパス（宝町13-1）
医学類B棟3階b33号室（井上研究室前）
3. 出席者 中村 信一 学長
長野 勇 理事(研究・国際担当)
山本 博 医薬保健研究域長
金子 周一
脳・肝インターフェースメディシン研究センター長

取材の際は、自社腕章の着用をお願いします。

【本件照会先】

宝町地区事務部総務課長 中越
Tel: 076-265-2113

【担当】

広報戦略室 伊藤
Tel: 076-264-5024

金沢大学医薬保健研究域附属
脳・肝インターフェースメディシン研究センター
(Brain/Liver Interface Medicine Research Center)

センター長：金子 周一（医薬保健研究域医学系 教授）

設置日

平成 23 年 3 月 18 日

設置目的

脳・肝を中心とする臓器間相互作用と破綻及びその阻止を解明し、生活習慣病の新しい予防・治療法の開発を目指す。

部門構成

1. 分子神経科学部門（部門長：櫻井 武 医学系教授）
睡眠・覚醒と食行動など脳が司る諸機能の関係とその異常を明らかにする。
2. 環境応答学部門（部門長：金子 周一 医学系教授）
過栄養など生活習慣が諸臓器の代謝や形質発現におよぼす影響を明らかにする。
3. 生体統御学部門（部門長：井上 啓 フロンティアサイエンス機構特任准教授）
脳と肝臓など臓器間の連携を担う仕組みの実体とその異常を明らかにする。
4. 生命創薬学部門（部門長：横井 毅 薬学系教授）
臓器連関とその破綻の解明に立脚した創薬研究を行う。